

「太陽のように明るく、大地のように優しく」

岐阜県立可茂特別支援学校長 大竹 陽平



可茂特別支援学校は、2011年（平成23年）可茂地域の特別支援教育の拠点として誕生しました。

「若葉」の間からこぼれあふれる「光」をイメージした校章と、地域で学び、地域で生きていく喜びを歌詞に紡いだ校歌とともに歩みはじめ、歌詞の中から生まれた「笑顔・ありがとう・夢」の校訓のもと、児童生徒一人一人が、それぞれの笑顔で、それぞれの色の光を輝かせ、「ありがとう」を伝え合うことで笑顔をつなぎ、仲間とともに、地域の中で夢に向かってたくましく生きる力を育みながら成長してきました。

そして、2023年（令和5年）新校舎（東棟）の完成により、新たな一歩を踏み出し、児童生徒一人一人が、それぞれの色で、太陽のように明るく輝き、地域という大地に、優しく貢献できることを願って、歩み続けています。

職員一同、児童生徒が、地域の中で、心豊かに生きていくことを願って力を尽くしてまいります。保護者様、地域の皆様、関係者の皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

